

学習目標 9-12 歳

1 関係性

- 1.1 家族
- 1.2 友情、愛情、恋愛関係
- 1.3 寛容、包摂、尊重
- 1.4 長期的な責任ある関係と子育て

1.1 家族

キーアイデア：

- ・親／保護者や他の家族のメンバーは、子どもが価値観を獲得するのを助け、子どもの決定を導き、支援します。

学習者ができるようになること：

- ▶ 親／保護者、家族のメンバーが子どもの意思決定をサポートする方法を説明する。(知識)
- ▶ 親／保護者、家族のメンバーが子どもの意思決定に影響を与えていることを認識する。(態度)
- ▶ 家族の価値観がどのように自分の意思決定の指針となっているかを考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・家族は役割と責任を通じて、ジェンダー平等を促進することができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 家族一人ひとりの役割、権利、責任を理解する。(知識)
- ▶ 家族の役割と責任を通して、家族がジェンダー平等をサポートできる方法をリストアップする。(知識)
- ▶ 家族の中では、家族全員がジェンダー平等を推進できることを認識する。(態度)
- ▶ 家族内での平等な役割と責任へのサポートを表明する。(スキル)

キーアイデア：

- ・健康や病気は、家族の構成、受容力、責任のありかたの面で家族に影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 健康や病気が家族の役割や責任にどのような影響を与えるかを説明する。(知識)
- ▶ 健康や病気が家族の機能に影響を与えることを認識する。(態度)
- ▶ 病気の影響を受けた家族への共感を示す。(スキル)

1.2 友情、愛情、恋愛関係

キーアイデア：

- ・友情と愛情は、自分を肯定的に感じられるようにしてくれます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 友情と愛情の利点をあげる。知識)
- ▶ 友情と愛情は、いい気分を感じさせてくれることを認識する。(態度)

▶友情や愛情を、相手にいい気分を感じてもらえるように表現する。(スキル)

キーアイデア：

・友情や愛情は、子どもが思春期になるにつれて、表現のしかたが変わってきます。

学習者ができるようになること：

- ▶成長に応じて変化する友情や愛情の表現方法について説明する。(知識)
- ▶友情や愛情の表現には、さまざまな方法があることを認識する。(態度)
- ▶成長に応じて、自分の友情や愛情の表現方法が変化することについて考える。(スキル)

キーアイデア：

・人間関係の不平等は、個人の間人間関係に悪影響を及ぼします。

学習者ができるようになること：

- ▶人間関係の不平等が個人的な人間関係(例：ジェンダー、年齢、経済的立場、力の相違)にどのように影響を与えるかを探る。(知識)
- ▶役割をより平等にすることが、健康的な人間関係にどのように貢献できるかを分析する。(知識)
- ▶人間関係の平等が、健康的な人間関係の一部であることを認識する。(態度)
- ▶人間関係の中で平等な役割を果たすことができる。(スキル)

1.3 寛容、包摂、尊重

キーアイデア：

・スティグマ(恥と罪の意識)や差別は有害です。

学習者ができるようになること：

- ▶スティグマと差別を定義し、それらがどのように有害であることを識別する。(知識)
- ▶自分の中にあるスティグマ(例：沈黙、拒絶、秘密主義)とその結果について説明する。(知識)
- ▶スティグマや差別に直面している人を支援する一般的な仕組みがあることを再認識する。(知識)
- ▶他者に寛容さ、包摂、尊重を表現することが重要であると認識する。(態度)
- ▶スティグマにさらされたり、差別されたりしている人への支援を示す。(スキル)

キーアイデア：

・社会的、経済的な状況や、健康状態、あるいは民族、人種、出自、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、その他の違いを理由に、嫌がらせやいじめをすることは、失礼なことであり、傷つけることです。

学習者ができるようになること：

- ▶嫌がらせやいじめの意味を説明する。(知識)
- ▶嫌がらせやいじめが、傷つける、失礼な行為である理由を説明する。(知識)
- ▶いじめや嫌がらせに対しては、誰もが声を上げる責任があることを認識する。(態度)
- ▶嫌がらせやいじめに対抗する方法を示す。(スキル)

1.4 長期的な責任ある関係と子育て

・児童婚・早期婚・強制婚(CEFM)は有害であり、大多数の国で違法です。

学習者ができるようになること：

- ▶CEFMの定義を知る。(知識)

- ▶CEFM が子ども、家族、社会に与える悪影響をリストアップする。(知識)
- ▶CEFM が有害であることを認める。(態度)
- ▶CEFM のリスクがある場合に相談できる、親／保護者や信頼できる大人を明確にする。(スキル)

キーアイデア：

・長期の責任ある関係、結婚、子育ては社会、宗教、文化、法律によってさまざまであり、かつこれらによって形づくられている。

学習者ができるようになること：

- ▶長期の関係性、結婚、子育ての重要な特徴をあげる。(知識)
- ▶文化、宗教、社会、法律が長期的な関係性、結婚、子育てにどのような影響を与えるかを説明する。(知識)
- ▶すべての人が、いつ、誰と結婚するのか、しないのかを決定できるべきであると認める。(態度)
- ▶長期の関係性、結婚、子育てについて自分の意見を表現する。(スキル)

キーアイデア：

・文化やジェンダー役割が子育てに強い影響を与える。

学習者ができるようになること：

- ▶文化やジェンダー役割が子育てにどのように強い影響を与えるかを議論する。(知識)
- ▶いい親であるとはどういうことかについて、自分の価値観や信念について考える。(スキル)

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

- 2.1 価値観とセクシュアリティ
- 2.2 人権とセクシュアリティ
- 2.3 文化、社会とセクシュアリティ

2.1 価値観とセクシュアリティ

キーアイデア：

・家族やコミュニティから伝えられる価値観や態度は、性やセクシュアリティについて学ぶ情報源であり、私たちの個人的な行動や意思決定に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶性やセクシュアリティについて、何をどのように学ぶのかを教えてくれる価値観や態度の情報源（親、保護者、家族、コミュニティ）を明らかにする。（知識）
- ▶一部の親や保護者が価値観を子どもに教えたり、例として見せたりする方法を説明する。（知識）
- ▶ジェンダー役割への期待や平等に影響を与える価値観について説明する。（知識）
- ▶家族やコミュニティの価値観や態度が、行動や意思決定に影響を与えることを認識する。（態度的）
- ▶家族から学んだ価値観について考える。（スキル）

2.2 人権とセクシュアリティ

キーアイデア：

・自分の権利を知ること、人権が国内法や国際協定にも定められていることを知るのは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶人権の定義と、それがすべての人にどのように適用されるかを再認識する。（知識）
- ▶普遍的な人権や子どもの権利を定めた国内法や国際協定をあげる。（知識）
- ▶世界人権宣言や子どもの権利条約など、国内法や国際協定で定められている子どもの権利を認識する。（知識）
- ▶人権と、人権はすべての人に適用されることを認める。（態度）
- ▶自分たちが享受している権利について考える。（スキル）

2.3 文化、社会とセクシュアリティ

キーアイデア：

・文化、宗教、社会は私たちのセクシュアリティの理解に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶文化、宗教、社会がセクシュアリティの理解にどのような影響を与えているか、例を挙げて説明する。（知識）
- ▶各地域の、異なる文化を超えて行われている、成人期へのさまざまな通過儀礼を説明する。（知識）
- ▶時代とともに変化してきたセクシュアリティに関する文化的、宗教的、社会的な信念や慣習を明らかにする。（知識）
- ▶セクシュアリティに関する多様な信念があることを認める。（態度）
- ▶セクシュアリティに関する多様な慣習とすべての人の人権への尊重をはっきりと示す。（スキル）

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性

キーアイデア：

- ・社会的・文化的規範や宗教的信念は、ジェンダー役割に影響を与える要因でもあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ジェンダー役割を定義する。(知識)
- ▶社会規範、文化的規範、宗教的信念がジェンダー役割にどのように影響を与えるかの例を明らかにする。(知識)
- ▶多くの要因がジェンダー役割に影響を与えることを認識する。(態度)
- ▶ジェンダー役割の捉え方に影響を与えている社会的、文化的、宗教的な信念について考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・それぞれの人が自分のジェンダーについて、自分自身をどう考え、他人に自分をどう説明するかは、それぞれの人で異なりそれぞれに素晴らしく、尊重されるべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ジェンダーアイデンティティを定義する。(知識)
- ▶ジェンダーアイデンティティが生物学的性と一致しない場合があることを説明する。(知識)
- ▶誰もがジェンダーアイデンティティを持っていることを認める。(態度)
- ▶自分のジェンダーアイデンティティを認め、他者のジェンダーアイデンティティへの尊重をはっきりと示す。(スキル)

3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス

キーアイデア：

- ・家族、友情、人間関係、コミュニティ、社会の中には、ジェンダー不平等や力の差が存在する。

学習者ができるようになること：

- ▶ジェンダー不平等を定義する。(知識)
- ▶ジェンダー不平等が、家族、友情、コミュニティにおける力の差とどのように結びついているかを説明する。(知識)
- ▶人間関係におけるジェンダー不平等や力の差がもたらすネガティブな結果(例：ジェンダーに基づく暴力)を再認識する。(知識)
- ▶誰にでもジェンダー不平等をなくす責任があるという信念を育む。(態度)
- ▶家庭、学校、コミュニティでの人間関係の中で、ジェンダー平等を促進する方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ジェンダーステレオタイプは、偏見や不平等につながる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ジェンダーに関するステレオタイプ(固定観念)やバイアス(偏見)を定義する。(知識)

- ▶ ジェンダースtereotypeやそれに基づく期待は、ポジティブにもネガティブにも、人々の生き方に強い影響を与えていることを認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーによる違いが搾取や不平等な扱いにつながる可能性があること、人々が期待される規範とは異なる行動をとる場合は特にそうであることを認める。(態度)
- ▶ ジェンダー役割の公平性に問題意識を持ち、それらの不公平で有害な慣習に挑む方法を示す。(スキル)

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア：

- ・ あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は間違った行為であり、人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーに基づく暴力の例 (例：いじめ、セクシュアルハラスメント、精神的暴力、ドメスティックバイオレンス、レイプ、女性器切除/切断、CEFM (児童婚・早期婚・強制婚)、同性愛嫌悪による暴力) をあげ、学校、家庭、公共の場、オンラインなど、ジェンダーに基づく暴力が発生する可能性のある場所を特定できる。(知識)
- ▶ あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は人権侵害であることを認識する。(態度)
- ▶ 自分や知り合いがジェンダーに基づく暴力に直面している場合や、ジェンダーに基づく暴力に巻き込まれそうな心配がある場合に、信頼できる大人に相談する方法を明らかにし、その方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ ジェンダースtereotypeは、暴力や差別の原因になる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダースtereotypeが、いじめや差別、虐待、性暴力をどのように引き起こすかを説明する。(知識)
- ▶ 性的虐待やジェンダーに基づく暴力は、性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、権力や支配に関する犯罪であることを説明する。(知識)
- ▶ ジェンダー不平等やジェンダー役割のstereotypeは、ジェンダーに基づく暴力を引き起こすことを認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー平等について議論し、ジェンダーに基づく差別や暴力に立ち向かう方法を示す。(スキル)

4 暴力と安全確保

- 4.1 暴力
- 4.2 同意、プライバシー、からだの保全
- 4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

4.1 暴力

キーアイデア：

・性的虐待、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネットいじめを含む）は人を傷つける行為であり、それらを経験した場合はサポートを求めることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶性的虐待（レイプ、近親者による性暴力、オンラインでの性的搾取を含む）、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネットいじめを含む）の例を説明する。（知識）
- ▶子どもへの性的虐待は違法であること、また、被害を受けた人を支援するための機関やサービスがあることを認識する。（知識）
- ▶性的虐待、セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめを受けた場合、支援を求めることの重要性を認識する。（態度）
- ▶いじめや性的虐待、嫌がらせを受けている人を知っている場合、効果的な対応方法をやってみる。（スキル）
- ▶性的虐待、セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめを受けている人を知っている場合、もしくは自分自身が被害にあっている場合に、助けを求める方法をやってみる。（スキル）

キーアイデア：

・親密なパートナーからの暴力は間違った行為であり、それを目撃した場合に支援を求めることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶親密なパートナーからの暴力を定義する。（知識）
- ▶親密なパートナーからの暴力の具体例を説明する。（知識）
- ▶親密なパートナーからの暴力は間違った行為であること、それを目にした子どもは支援を受けることで恩恵を得ることを認識する。（態度）
- ▶家庭内でこの種の暴力に直面している場合、信頼できる大人にどのように支援を求めるかを示す。（スキル）

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア：

・望まない性的な扱われ方とは何かについて、また、成長期におけるプライバシーの必要性について理解することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶思春期には、自分のからだやプライベートな空間のプライバシーは男女問わず、特に女子のトイレや水場へのアクセスは、より重要になることを説明する。（知識）
- ▶望まない性的な扱われ方を定義する。（知識）
- ▶男女問わず、望まない性的な扱われ方はプライバシーと自分のからだを自分で決める権利の侵害であると認識する。（態度）
- ▶プライバシーを守り、望まない性的な扱われ方に対抗するために、自己主張のあるコミュニケーションをとる。（スキル）

4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

キーアイデア：

- ・ インターネットやソーシャルメディアの利用には、特別な注意と思慮が必要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ インターネットやソーシャルメディアの利点と起こりうる危険性の例を説明する。(知識)
- ▶ インターネットやソーシャルメディアの利用方法に慎重であることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ ソーシャルメディア上でどのような情報を誰と共有するかを決める方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ ソーシャルメディアを通じて、性的に露骨な表現やメディアに簡単にアクセスできる状態にあり、それは有害なジェンダー役割のステレオタイプを促進する可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的に露骨なメディア (ポルノグラフィ)、セク스팅とは何かを説明する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアでは、男性、女性、性的関係が非現実的に描かれていることが多いことを説明する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアは、男性、女性、性的関係についての不正確な描写によって誤解を招く可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ 性的に露骨なメディアやセク스팅について、信頼できる大人に伝える方法を明らかにし、それを示す。(スキル)

5 健康と幸福のためのスキル

- 5.1 性的行動における規範と仲間の影響
- 5.2 意思決定
- 5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル
- 5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ
- 5.5 援助と支援を見つける

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーアイデア：

- ・ 仲間は、思春期やセクシュアリティに関する意思決定や行動に影響を与えることがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期やセクシュアリティに関する意思決定や行動への、仲間からのポジティブな影響とネガティブな影響を説明する。(知識)
- ▶ 思春期やセクシュアリティに関する意思決定や行動に、仲間が影響を与える可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ 仲間の影響に問題意識を持つ。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 思春期やセクシュアリティに関連した、仲間からのネガティブなプレッシャーに対抗し、仲間からのポジティブな影響を受け入れ、それを促進する方法があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期やセクシュアリティに関連した、仲間からのネガティブなプレッシャーに対抗し、仲間からのポジティブな影響を促進する方法を列挙する。(知識)
- ▶ 思春期やセクシュアリティに関連した、仲間からのネガティブなプレッシャーに対抗できることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ やりたくないことを拒否する能力をはっきりと示す。(スキル)
- ▶ 仲間からのポジティブな影響を受け入れ、促進する方法を示す。(スキル)

5.2 意思決定

キーアイデア：

- ・ 意思決定は学び、実践することのできるスキルです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 意思決定の主なステップを説明する。(知識)
- ▶ 意思決定は学ぶことのできるスキルであることを認識する。(態度)
- ▶ 意思決定のプロセスを問題解決に適用する。(スキル)
- ▶ 意思決定の助けとなる親や保護者、信頼できる大人の名前をあげる。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 意思決定には、友だち、文化、ジェンダー役割のステレオタイプ、仲間、メディアを含む、さまざまなものが複合的に影響しています。

学習者ができるようになること：

- ▶自分の意思決定に影響を与えるものをリストアップする。(知識)
- ▶自分の意思決定は、多数の要因に影響されていることを理解する。(態度)
- ▶自分の意思決定に影響を与えるさまざまな要素について、自分がどのように感じているかを表現する。(スキル)

5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル

キーアイデア：

・効果的なコミュニケーションには、さまざまな方法とスタイルがあり、それは希望やニーズ、個人の境界線を表現し、理解するために重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶効果的な言語的／非言語的コミュニケーション、効果的でない言語的／非言語的コミュニケーションの特徴（例：積極的に聞く、感情を表現する、理解を示す、直接目を合わせる vs 聞かない、感情を表現しない、理解を示さない、見ている、目をそらす）を説明する。(知識)
- ▶自分の希望やニーズ、個人の境界線を表現し、他者のそれを理解できることの重要性を認識する。(態度)
- ▶交渉の際は、お互いを尊重し、協力し、ときには妥協することがすべての当事者から求められることを認識する。(態度)
- ▶希望やニーズ、個人の境界線を伝え、また他者のそれらに耳を傾け敬意を示す、効果的な方法を示す。(スキル)

5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ

キーアイデア：

・メディアはセクシュアリティやジェンダーに関する価値観、態度、規範にポジティブにもネガティブにも影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶メディアのさまざまな種類（例：ソーシャルメディア、伝統的なメディア）を定義する。(知識)
- ▶男性、女性、関係性がメディアでどのように描かれているか、具体例を共有する。(知識)
- ▶セクシュアリティやジェンダーに関する個人の価値観や態度、行動に与えるメディアの影響を説明する。(知識)
- ▶セクシュアリティやジェンダーに関する価値観や態度、行動に及ぼすメディアの影響力を認識する。(態度)
- ▶男性と女性がメディアでどのように描かれているかについて問題意識を持つ。(スキル)

5.5 援助と支援を見つける

キーアイデア：

・学校やより広いコミュニティには、さまざまな援助や支援の拠点があります。

学習者ができるようになること：

- ▶子どもが助けを求める必要のある問題（例：虐待、嫌がらせ、いじめ、病気）を認識し、関連する援助の拠点を明らかにする。(知識)
- ▶虐待、嫌がらせ、いじめは、信頼できる援助の拠点に通報する必要があることを再認識する。(知識)
- ▶問題によっては、学校やコミュニティの外に助けを求める必要があることを認識する。(態度)
- ▶より広いコミュニティの中で援助を探し、そこにアクセスする方法を示す。(スキル)

6 人間のからだと発達

- 6.1 性と生殖の解剖学と生理学
- 6.2 生殖
- 6.3 思春期
- 6.4 ボディイメージ

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

キーアイデア：

・誰のからだにも、性の健康と生殖に関わる部分があり、子どもたちがそれについて疑問を持つことはよくあることです。

学習者ができるようになること：

- ▶性の健康と生殖に関わるからだの部分を説明する。(知識)
- ▶自分のからだや性的機能について、好奇心や疑問を持つのは自然なことであることを認識する。(態度)
- ▶誰のからだも、さまざまな大きさ、形、機能、特徴があり、それぞれ異なりそれぞれに素晴らしいものであることを認める。(態度)
- ▶質問できる信頼できる大人を特定し、性と生殖に関する解剖学および生理学について質問する方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

・女性のからだは月経周期の中で排卵する、男性のからだは精子をつくり射精する、このどちらもが生殖に必要です。

学習者ができるようになること：

- ▶生殖を引き起こすからだの重要な機能(例：月経周期、精子の産生、精液の射精)を説明する。(知識)
- ▶女性と男性のからだ、両方が生殖に重要な役割を果たしていることを説明する。(態度)
- ▶月経周期や精子の射精がどのように起こるのか理解していることを、自信をもって表明する。(スキル)

6.2 生殖

キーアイデア：

・妊娠が始まるためには、精子が卵子と結合し、子宮に着床するという条件が必要不可欠です。

学習者ができるようになること：

- ▶生殖に必要なステップを列挙する。(知識)
- ▶ペニスが膈内に射精する性交の結果で妊娠が起こりうることを再認識する。(知識)
- ▶性交によって常に妊娠するわけではないことを再認識する。(知識)

キーアイデア：

・精子があれば最も妊娠しやすい排卵前後の時期など、月経周期にはさまざまな段階があります。

学習者ができるようになること：

- ▶最も妊娠しやすい時期を含め、月経周期について説明する。(知識)
- ▶ホルモンの変化が、月経や最も妊娠しやすい時期を調節していることを再認識する。(知識)
- ▶月経周期がどのように機能しているかをポジティブに認識する。(態度)

▶月経についての自分の感情を振り返る。(スキル)

キーアイデア：

・妊娠には一般的な兆候があり、月経が来なかったり遅れたりしているときはできるだけ早く妊娠検査をして確認する必要があります。

学習者ができるようになること：

- ▶妊娠の兆候と胎児の発育段階を説明する。(知識)
- ▶健康的な妊娠と出産へとつながるステップを的確に認識する。(態度)
- ▶妊娠を確認するために利用できる検査について説明する。(知識)

6.3 思春期

キーアイデア：

・思春期は人の生殖能力の変化を示します。

学習者ができるようになること：

- ▶思春期のプロセスと性と生殖システムの成熟について説明する。(知識)
- ▶思春期の間に起こる主要な身体的、感情的な変化をリストアップする。(知識)
- ▶思春期についての信頼できる情報を見つける方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

・思春期の間、性と生殖に関わるからだを清潔、健康に保つためには、衛生的であることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶個人の衛生管理と衛生習慣について説明する。(知識)
- ▶個人の衛生意識の重要性を理解する。(態度)
- ▶衛生に関する理解を、成長期に健康を維持するための個人の計画に応用できる。(スキル)

キーアイデア：

・月経は一般的なことで、女子の身体的成長の自然な一部であり、秘密やスティグマ（恥と罪の意識）として扱われるべきではありません。

学習者ができるようになること：

- ▶月経周期を説明し、この時期に女子が経験する可能性のあるさまざまな身体的症状や感情について説明する。(知識)
- ▶月経用ナプキンやその他の月経用品の入手方法、使用方法、処分方法を説明する。(知識)
- ▶ジェンダー不平等が、月経中の女子の羞恥心や恐怖心にどのような影響を与えているかを再認識する。(知識)
- ▶月経期間中、月経用ナプキンやその他の月経用品、きれいな水、個室のトイレを利用できることは、すべての女子にとって重要であることを認識する。(態度)
- ▶月経中の女子が快適に過ごせるように、積極的に支援的な方策を示す。(スキル)

キーアイデア：

・思春期には、若者はさまざまな身体的反応（例：勃起、夢精）を経験することがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶若い男性は、起床によって、または特定の理由なしに勃起を経験することがあること、およびこれが一般的なことであることを理解する。(知識)
- ▶思春期の若者の中には、夢精と呼ばれる、夜に勃起し射精することがあり、それは一般的なことだと再認識する。(知識)
- ▶勃起、夢精、その他の性的反応は思春期の一般的なことだと認識する。(態度)

6.4 ボディイメージ

キーアイデア：

- ・ 身体的外見は人間としての価値を決定するものではありません。

学習者ができるようになること：

- ▶ 身体的外見は遺伝、環境、健康習慣によって決まることを説明する。(知識)
- ▶ 身体的外見は、その人の人間としての価値を決定するものではないことを認識する。(態度)
- ▶ 仲間同士においても、さまざまな身体的外見を認め合う姿勢を示す。(態度)

キーアイデア：

- ・ 身体的外見において、何を魅力的だと感じるかには人によって大きな違いがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 身体的外見において、人が魅力的に感じる部分の違いを説明する。(知識)
- ▶ 人がなにを身体的に魅力的に感じるかは、時間の経過とともに変化し、文化によっても違うことを認識する。(態度)
- ▶ 自分が何を魅力的に感じるか、またそれは他の人が魅力を感じるものとどのように違うかを考える。(スキル)

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

キーアイデア：

・人間は生まれながらにして、生涯にわたってそれぞれのセクシュアリティを楽しむ能力を持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティには、他者に感情的・身体的に魅力を感じるが含まれていることを理解する。(知識)
- ▶人間が生涯を通じて、身体的な接触(例:キス、ふれあい、愛撫、性的接触)によってよるこびを感じるさまざまな方法を説明する。(知識)
- ▶セクシュアリティは人間の健康にかかわる一部であることに気づく。(態度)
- ▶同性に魅力を感じる人、同性に魅力を感じるとされている人を差別することは、間違ったことであり、その差別はそれらの人々に悪影響を及ぼす可能性があることを認識する。(態度)
- ▶さまざまな性的感情を伝え、理解し、適切な方法でセクシュアリティについて話す。(スキル)

キーアイデア：

・セクシュアリティについて好奇心を持つのは当然のことであり、信頼できる大人に質問することは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティに興味を持ち、疑問を持つのは自然なことであると認識する。(態度)
- ▶一緒にいて居心地のいい信頼できる大人を見つけ、セクシュアリティについて実際に質問してみる。(スキル)

7.2 性的行動と性的反応

キーアイデア：

・人には、性的刺激(身体的または心理的)によって身体的な反応が生じるという性的反応のサイクルがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶性的刺激に対する男性と女性の反応を説明する。(知識)
- ▶思春期の男子と女子は、性的魅力や性的刺激に対する反応をより強く意識するようになると述べる。(知識)
- ▶多くの男子と女子が、思春期か、もしくはそれより早い時期にマスターベーションを始めることを説明する。(知識)
- ▶マスターベーションは身体的、または感情的に害を及ぼすものではないが、一人になれる空間で行うべきであることを認識する。(知識)

キーアイデア：

・セックス(性行動)を遅らせるかどうか、性的に活発になるかどうかなど、性的行動について情報に基づいた判断ができることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶セックスを遅らせたり、性的に活発になったりすることを選択することのメリットとデメリットを比較対照する。(知識)
- ▶禁欲とは、セックスをしない選択をすること、またはセックスをいつ、誰と、初めてするかを自ら決めることを意味し、妊娠や HIV を含む性感染症を防ぐ最も安全な方法であることを理解する。(知識)
- ▶セックスや人間関係に関連した決定が、自分の将来設計にどのような影響を与えるかを考える。(態度)

8 性と生殖に関する健康

- 8.1 妊娠と避妊
- 8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート
- 8.3 HIV を含む性感染症リスクの理解、認識、低減

8.1 妊娠と避妊

キーアイデア：

- ・妊娠の主な特徴を理解することは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 妊娠の一般的な兆候を列挙する。(知識)
- ▶ 妊娠を確認するための入手可能な検査について説明する。(知識)
- ▶ 早期婚（自発的でも強制的でも）や早期妊娠・早期出産によって引き起こされる健康上のリスクを列挙する。(知識)
- ▶ 若年で意図しない妊娠をすると、健康面や社会面でネガティブな結果となる可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ 妊娠の兆候があった場合に相談できる親や保護者、信頼できる大人を明らかにする。(スキル)

キーアイデア：

- ・現代的な避妊方法は避妊や妊娠の計画を助けます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 現代的避妊法やコンドーム、その他の意図しない妊娠を防ぐ方法に関する迷信を修正する。(知識)
- ▶ 意図しない妊娠を避けるためには、性交をしないことが最も効果的であることを説明する。(知識)
- ▶ 意図しない妊娠のリスクを減らすために、男性用と女性用のコンドーム両方の正しい使い方の手順を説明する。(知識)

キーアイデア：

- ・ジェンダー役割や仲間の規範は、避妊具の使用についての決定に影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー役割や仲間の規範が避妊具の使用にどのように影響するかを議論できる。(知識)
- ▶ コンドームやその他の避妊具を使用するかどうかの決定は、性的パートナー両方の責任であることを認識する。(態度)
- ▶ 避妊は、男女ともに責任があることを認める。(態度)
- ▶ 避妊についてどのように感じているか、また、それに影響を与えるジェンダー役割や仲間の規範について考える。(スキル)

8.2 HIV/エイズのスティグマ（恥と罪の意識）、ケア、治療、サポート

キーアイデア：

- ・HIV と共に生きる人にとって、安全で協力的な環境の中で自分の HIV の状態について話せることは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIV と共に生きる人たちが、自分の HIV の状態を話すことで生じる利点と困難について説明する。(知識)
- ▶ HIV と共に生きる人の中には、生まれたときから HIV を持っている人もいれば、生まれてから HIV に感染した人もいることを再認識する。(知識)
- ▶ HIV と共に生きる人たちにとって安全で協力的な環境を保証する責任が誰にでもあることを認識する。(態度)

▶安全で協力的な環境に貢献する方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

・HIV と共に生きる人は、ケアや治療に独自のニーズがあり、その中には副作用の可能性もあります。

学習者ができるようになること：

- ▶HIV と共に生きる人は、なぜケアや治療に独特のニーズがあるのか、副作用の可能性も含めて説明する。(知識)
- ▶HIV の治療は生涯にわたるものであり、副作用やその他の困難を伴うことがあり、栄養面で慎重に注意を払う必要があることを再認識する。(知識)
- ▶HIV と共に生きる子どもや若者も治療の恩恵を受けることができるが、特に思春期には適切な投薬とその遵守、副作用(例：骨密度、抗レトロウイルス薬剤耐性)に慎重な注意が必要であることを述べる。(知識)
- ▶HIV にかかわるケアや治療、サービスにアクセスする方法をリストアップして示す。(スキル)

キーアイデア：

・HIV とエイズは家族構成や家族の役割、責任に影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶HIV は人間関係や家族、性的な生活を送る上で障壁とはならないことを説明する。さまざまな HIV の状態にある人たちが一緒に暮らし、HIV に感染する危険性なしで性的なパートナーとなり、HIV に感染しない子どもを持つこともできるからである。(知識)
- ▶HIV やエイズがさまざまな家族やその構成、役割分担、責任についてどのような影響を与えるか説明する。(知識)
- ▶家族、コミュニティ、サービス、治療などのサポートがあれば、HIV と共に生きる女性は健康であることができ、HIV に子どもを感染させることなく出産し、授乳することができるということを説明する。(知識)
- ▶HIV と共に生きる人をサポートする責任が、誰にでもあることを認識する。(態度)
- ▶HIV と共に生きる人をサポートする方法を示す。(スキル)

8.3 HIV を含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーアイデア：

・すでに性感染症にかかっている人と性交することで、HIV を含む性感染症にかかる可能性がありますが、感染しやすさを低くするさまざまな方法があります。

学習者ができるようになること：

- ▶コミュニティの中で若者に最も一般的な性感染症(例：HIV、HPV、ヘルペス、クラミジア、淋病)と、その感染経路を列挙する。(知識)
- ▶HIV 軽度の接触(例：握手、ハグ、同じグラスで飲む)では感染しないことを説明する。(知識)

キーアイデア：

・HIV は、HIV と共に生きる人との無防備な性交を含む、さまざまな方法で感染する可能性があるウイルスです。

学習者ができるようになること：

- ▶HIV のさまざまな感染経路(例：HIV と共に生きる人との無防備な性交、HIV が混入した血液による輸血、注射器、針または他の鋭利な器具の共有；妊娠中、分娩時、母乳育児されている期間)をあげる。(知識)
- ▶HIV は、ほとんどの人が HIV と共に生きる人との無防備な挿入を伴う性交によって感染する、あるいは感染させることを述べる。(知識)

キーアイデア：

・HIV を含む性感染症への脆弱性を低くするさまざまな方法があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIV に感染したり、感染させたりするリスクを低くするさまざまな方法を説明する。HIV にさらされる前（コンドームの使用、可能な地域である場合には任意の医学的な男性包皮切除（VMMC）、曝露前予防内服（PrEP）とコンドームとの併用）、HIV にさらされた後（入手可能な地域における曝露後予防内服（PEP））の両方について。（知識）
- ▶ コンドームを正しく使用するための手順を説明する。（知識）
- ▶ 入手可能な地域においては、性器ヒトパピローマウイルス（HPV）のワクチンには何歳からどこでアクセスできるかを説明する。（知識）
- ▶ 望まない性的プレッシャーに対抗したり、コンドームや避妊具の正しい一貫した使用を含め、より安全なセックスを実践する意思を伝えたりするコミュニケーション、交渉、拒否のスキルを示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ HIV を含む性感染症に感染しているかどうかを確実に知るには検査が唯一の方法であり、HIV やほとんどの性感染症には治療法が存在します。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIV を含む、コミュニティで最も一般的な性感染症の検査と治療についての理解を示す。（知識）
- ▶ 検査を受けたい人をサポートする方法を説明する。（知識）
- ▶ 検査を受ける人にとって安全で支援的な環境の重要性を認識する。（態度）
- ▶ 検査を受けるためにどこに行けばよいかを説明する。（スキル）